



**CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL**

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

## ブラジル日本商工会議所

### 2018 年度事業・収支決算報告書

*Relatório de Atividades do Ano 2018*

### 2019 年度事業・収支予算計画書（案）

*Plano de Atividades para o Ano 2019 (Minuta)*

1. 2018 年度事業報告書  
*Relatório de Atividades do Ano 2018*
2. 2019 年度活動基本方針  
*Plano de Atividades para o Ano 2019*
3. 2018 年度収支決算報告書  
*Balanco Patrimonial e Demonstrações do Ano 2018*
4. 2019 年度収支予算計画書（案）  
*Plano Orçamentário para 2019 (Minuta)*
5. 2018 年度監事意見書  
*Parecer do Conselho Fiscal do Ano 2018*



# CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

## ブラジル日本商工会議所 2018 年度事業報告書

2019 年 3 月 22 日  
ブラジル日本商工会議所  
会頭 土屋 信司

昨年は 4 年に一度の大統領選挙において、10 月 28 日の決選投票でジャイル・ボルソナーロ氏（PSL・社会自由党）が対立候補のフェルナンド・ハダージ氏（PT・労働者党）を破り、史上初の極右大統領が当選となった事が特筆される。選挙結果は 55%対 45%と国家を二分した形となり、ブラジル国民の間ではかつての軍事政権への逆戻り懸念する声も一部あったものの、2003 年から 2016 年（8 月ジルマ大統領弾劾）という 13 年間に及ぶ労働党政権に終止符を打ち、変革を望む声がより大きかったと言える。

テメル暫定政府を経て 2019 年 1 月からボルソナーロ大統領による新政権へ移行。今後の汚職撲滅と公共治安の改善が期待され、また経済政策では市場を重視しブラジル国家にとって重要な喫緊課題である年金改革や税制改革などを推進する方針が明らかにされている。

ブラジルは経済リセッションという長いトンネルからようやく抜け出し、復調の兆しを見せており、2019 年は新政権とともに経済活動も活発になる見込みである。一方で対外政策ではトランプ米大統領の外交に追随する動きも見られ、ボルソナーロ新大統領は昨年選挙期間の公約の中で 2 国間での FTA の可能性を示唆するなど、日メルコスール EPA の行方は未だ定まらない状況下ではあるものの、当所も引き続き会員企業の裨益を目指し活動を続け、日系企業またブラジルの産業活性化に向け求められることを民間の声として挙げていきたい。

以下主な会議所行事トピックスをまとめ 2018 年度事業報告とする。

### 《2018 年会議所行事》

#### I. 日メルコスール EPA 早期交渉開始に向けた活動

第 20 回日伯経済合同委員会（2017 年 8 月 28 日、29 日 於：クリチバ）において、日伯 EPA に関する共同研究報告書をメルコスール枠に拡大し 2018 年の合同会議までにアップデートすることが合意され、2018 年 7 月 23 日、24 日開催（於：東京）の第 21 回において、メルコスール各国の在日大使とともに全会一致でアップデート報告書が採決された。

遡ると 1 月に経団連による EPA に関するアンケート調査が行われ、共同研究報告書のアップデートへ向けた動きが本格化。併せて会議所内には日メルコスール EPA 準備タスクフォースを発足、日伯経済交流促進委員会、企画戦略委員会、政策対話委員会の 3 委員会が共同幹事となり 1 年活動を続けている。同タスクフォースには共同幹事以外にも各業種別部会から部会長と副部会長にメンバーとしてご参加頂き、様々な業種の声を総合的に吸い上げる場として機能している。

具体的な活動としては EPA に関する知識の啓蒙を目的に計 8 回の勉強会、カマラ HP 内に設置した情報プラットフォームによる情報提供、5 月にはメルコスール各国に進出する日系企業へ EPA に関する意識調査を実施している。その意識調査ではメルコスール各国日系進出企業 348 社を対象に日メルコスール EPA の必要性の有無を問い、回答率 74%のうち、実に 84%が『日メルコスール EPA の必要性を感じる』と回答。7 月の第 21 回日伯経済合同委員会では、当所松永会頭（当時）が「日本・メルコスール EPA の実現に向けて」と題し、EPA 準備タスクフォースの取組みと活動、またこの意識調査の結果についてプレゼンを行ない、日メルコスール EPA の必要性を説明。また同会合の中で CNI-経団連による共同報告書「日メルコスール EPA 経済連携協定へ向けたロードマップ」を発表、冒頭に記述の通り EPA の賛否が図られ参加者全会一致で採択されている。（<http://www.keidanren.or.jp/policy/2018/062.html>）

更に、メルコスール進出日系企業の声が集約された意識調査の結果と共同報告書「日メルコスール EPA 経済連携協定へ向けたロードマップ」を受け、10 月 18 日経団連、日商の連名による「日本メルコスール EPA の早期交渉を求める」提言書が発表、また 10 月 23 日には飯島彰己経団連日本ブラジル経済委員長と小林 健 日本・東京商工会議所日亜経済委員長により同提言書が菅官房長官へ手交された。（[http://www.keidanren.or.jp/journal/times/2018/1025\\_02.html](http://www.keidanren.or.jp/journal/times/2018/1025_02.html)）

日本メルコスール EPA は自由で開かれた経済圏の形成と強化につながり、かつその実現の意義は極めて大きく、今後様々な機会に日本とメルコスールの首脳が EPA について議論するなど、交渉の早期開始に向けた政府のイニシアティブ



## CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

が期待される。2018 年度の主要活動として当所も力を注いできた日メルコスール EPA であるが、早期交渉開始実現に向け引き続き経団連、日商と連携を図りながら民からの働きかけとしての活動を検討して参りたい。

※日伯二国間あるいは日メルコスール FTA/EPA への動き、これまでの活動経緯以下のリンクを参照。[\(過去に行ってきた日伯 FTA \(EPA\) 活動経緯\)](#)

## II. 2018 年度会議所活動トピックス

以下、その他の主要な会議所活動と関連事項をトピックス形式で記載する。

### 1. シンポジウム、セミナー、昼食会

年 2 回開催される部会長シンポジウムはいずれも 200 人以上の参加で大盛況となり、ブラジル経済の復調と副題としておいたブラジル大統領選後の日本企業への影響への関心が高いことが印象づけられた。

また、各委員会や部会等の主催により、労働法、税制、IoT (モノのインターネット) を含む IT 関連、改正移住法、安全対策セミナー、知的財産、通関、数多くのテーマを扱ったセミナーや元サッカー選手の呂比須ワギナー氏、青木智栄子氏などを講師として招待したセミナーや講演会を実施、月例昼食会では講師として、INPI のピメンテル長官、宮腰光廣 内閣総理大臣補佐官 (当時。現 内閣府特命担当大臣)、ルイス西森 連邦下院議員などの要人を招へいし貴重な講演が行われた。

### 2. 見学会、視察会

相互啓発委員会および運輸サービス部会主催のセアラ州輸出経済特区視察会、環境委員会によるトヨタビジターセンターの見学会、運輸サービス部会によるアスー港視察見学会、ジェットロと会議所共催によるパラグアイビジネスミッションなど、有意義な視察見学会が数多く実施された。

### 3. 日伯移民 110 周年 眞子内親王のご来伯

日伯移民 110 周年を迎えた今年、眞子内親王が来伯され、7 月 21 日正午から県連日本祭り内で行われた日伯移民 110 周年式典にご臨席された。式典の中で「移住者とそこの子孫が、努力を積み重ねて今日の日系社会の発展を築き、支えてこられたことに、心より敬意を表します。そして、皆様が進んでこられた長い道のりに思いを馳せるとともに、その歴史が、未来を担う世代にも大切に引き継がれていきますことを願っております」と述べられお言葉を締めくくった。5 千人収容の会場いっばいの拍手が起こり大きな共感が集め、また限られた日程の中でも 5 州 14 都市を訪れ、各地の日系社会コミュニティを中心に積極的な交流が行われた。

### 4. 河野太郎外務大臣来伯

外務大臣としては 5 年ぶりとなる河野 太郎外務大臣の来伯があり、当地ジャパンハウス講演を行うほか、日系社会関係者等との意見交換を行った。講演の中で日本とメルコスールの FTA、また日系社会との交流促進の重要性について触れている。

### 5. 第 21 回日伯経済合同委員会 / 第 12 回日伯貿易投資・産業協力合同委員会 / 第 2 回日伯インフラ作業部会

2018 年も日伯間の対話枠組みに基づく会合がそれぞれ行われ、なかでも第 21 回日伯経済合同委員会が東京で開催、日メルコスール EPA や農業・エネルギー、インフラ、ビジネス環境整備、SDGs 等のセッションで討議を行い、会議所からは前述の通り松永 愛一郎会頭 (当時) が日メルコスール EPA に関する取組についてプレゼンを行った。第 12 回日伯貿易投資・産業協力合同委員会では日本側から経済合同委の報告と日メルコスール EPA について、PPH 等知財協力の状況などが発表され、ブラジル側からは自動車政策ガイドライン-ROTA2030 やブラジル輸出品の市場アクセス等について発表が行われた。

### 6. 会議所 外務大臣表彰を授彰 / 会頭 パロン・デ・マウア勲章授章 / 貞方 賢彦氏 平成 30 年秋の叙勲を授章

(会議所 外務大臣表彰を授彰)

過去 80 年代に海外経済協力貢献者として通産大臣表彰授与の個人受賞者や 2008 年ブラジル日本移民 100 周年記念祭が挙行された際に数名が外務大臣表彰の授与に授かった以外は、今日まで会議所としての受賞歴は無く、今回団体として授彰したのは当会議所の長い歴史の中で初めての事である。松永愛一郎会頭 (当時) が会議



## CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

所を代表し伝達式典に出席。授章理由は『ブラジル日本商工会議所は、1940年日伯貿易の拡大に伴い設立され、今日に至るまで進出する日本企業の事業活動を後押ししている。ウジミナス製鉄所をはじめ、セニブラ、アマゾンアルミ等、伯への多大な貢献となった日伯合同プロジェクトや伯の日本デジタルテレビ方式採用、両国間の社会保障二重払い防止協定締結の一翼を担った。また近年は、日伯経済合同委員会等にて、伯ビジネス環境における障壁を取り除くべく伯政府に対し提言を行うなど、日伯経済関係及び友好親善の促進に貢献している。』であった。

(会頭 バロン・デ・マウア勲章授章)

2018年10月31日付けの法令第9549号によって新設制定された国家バロン・デ・マウア勲章は、ブラジルの工業、貿易、サービス産業の発展に寄与した功績を称えその分野では最も重きのある勲章であり、この度これまでの会議所活動が高く評価され、12月12日 松永 愛一郎会頭(当時)が伝達式典に出席、授章となった。

(貞方 賢彦氏 平成30年度秋の叙勲 授章)

また、当会議所の第13代会頭を務めた貞方賢彦氏が、平成30年秋の叙勲を授章。貞方氏は当所の会頭として、日本企業のブラジル進出をサポートすることで日伯経済交流を大きく促進させ、またブラジルのヤクルト商工の設立メンバーとして来伯し、法制度や商習慣の違いから生ずる諸問題の解決に尽力することで、同社の発展及びブラジルでの日本企業のイメージ向上に大きく貢献したことが高く評価された。その他、長崎市がサントス市に路面電車を寄贈した際の輸送支援やイビウナ市での野球教室の開催などを通じて、草の根レベルでも日伯交流促進に貢献している。

### 7. 2019-2020年会頭/理事会/監事選挙

2年に一度の会議所統一選挙(会頭/理事会者/監事選出)の年を迎え、以下の日程で選挙が行われた。

2019年-2020年度の理事・監事選挙

8月17日: 理事・監事選挙管理委員会発足 ~ 全会員による理事(立候補者/者30名)、監事(立候補者7名)選挙の実施 ~

10月19日: 臨時理事・総会で選挙結果の報告・承認(選挙管理委員会解散)

2019年/20年度新理事30名、新監事3名および補欠3名が選出された。

10月19日: 会頭選挙管理委員会発足 ~

2019年/20年度新理事30名による会頭選挙(立候補者1名)の実施 ~

11月23日: 臨時理事・総会で会頭選挙結果の報告・承認(選挙管理委員会解散)

会頭信任投票により2019年/20年度会頭に土屋信司氏が選出され、2019年1月1日より会頭に就任。

事業内容の詳細については紙面の都合上割愛させていただきますので  
会議所ホームページ総括および後ほど掲載されます総会資料をご参照下さい。

[www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br)



## CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

### **Relatório de Atividades do Ano de 2018 da Câmara de Comércio e Indústria Japonesa do Brasil**

22/03/2019

Câmara de Comércio e Indústria Japonesa do Brasil

Presidente Shinji Tsuchiya

Um dos fatos mais marcantes no ano que se passou foi a realização da eleição presidencial, realizada uma vez a quatro anos, e que colocou Jair Bolsonaro (PSL) como o primeiro presidente do Brasil considerado de direita, derrotando o candidato oponente, Fernando Haddad (PT), no segundo turno. A proporção de 55% contra 45% representa o grau de divisão da nação. Parte dos brasileiros recebeu uma regressão à ditadura militar, mas aparentemente a vontade por mudança foi maior, dando um fim a 13 anos de governo petista que durou de 2003 a 2016 (ano em que a presidente Dilma sofreu impeachment em agosto).

O novo Governo Bolsonaro teve início em janeiro de 2019 depois de passar pelo governo provisório de Temer. A expectativa é a de que promova o combate à corrupção e a melhoria da segurança pública. No aspecto econômico, ele deixou claro que dará prioridade ao mercado, promovendo a reforma da previdência e a reforma fiscal que são temas urgentes para a nação brasileira.

O Brasil finalmente estará saindo do longo túnel da recessão econômica e está mostrando sinais de recuperação, e espera-se que em 2019, a atividade econômica fique mais ativa, acompanhando o novo Governo. Por outro lado, há mostra de uma tendência a seguir o exemplo da política externa do presidente norte-americano Donald Trump. Em promessa durante a campanha, o novo presidente Bolsonaro sugeriu a possibilidade de acordos de livre comércio (FTA) bilaterais. Apesar de o futuro do Acordo de Parceria Econômica (EPA) entre o Japão e o Mercosul esteja incerto, a Câmara continuará a trabalhar em busca dos benefícios de nossas empresas associadas, além de ser porta-voz do setor privado para emitir o que é considerado necessário para revitalizar as empresas japonesas e a indústria brasileira.

A seguir apresentamos o Relatório de Atividades do Ano de 2018 resumindo em tópicos contendo os principais eventos relacionados à Câmara.

#### **«Eventos da Câmara do Ano de 2018»**

##### **I. Ações para agilizar o início das negociações do Acordo de Parceria Econômica entre o Japão e o Mercosul**

Em acordo comum, durante a 20ª Reunião Conjunta do Comitê de Cooperação Brasil-Japão (Curitiba, 28 e 29 de agosto de 2017), ficou decidido que o relatório de pesquisa conjunta a respeito do EPA Japão-Brasil seria ampliado para o âmbito do Mercosul para ser apresentada na edição de 2018 da mesma Reunião. O relatório foi aprovado por unanimidade na 21ª Reunião Conjunta realizada nos dias 23 e 24 de julho de 2018 (Tóquio) na presença dos embaixadores dos países do Mercosul no Japão.

Voltando no passado, uma enquete sobre o EPA foi realizada pela Federação Empresarial do Japão (Keidanren) em janeiro, dando andamento à atualização do relatório de pesquisa conjunta. Junto a isso, a Câmara criou a Força Tarefa de preparação a EPA Japão-Mercosul coordenada em conjunto pela Comissão de Promoção de Intercâmbio Econômico Nipo-Brasileiro, Comissão de Planejamento e Estratégia e Comissão de Relações Institucionais. Ela está em atividade há um ano. A força tarefa também conta com a participação dos presidentes e vice-presidentes de cada departamento e está funcionando como um espaço para captar de forma abrangente as opiniões dos diversos setores.

As atividades desempenhadas incluem oito comissões de estudo com o objetivo de esclarecer o conhecimento sobre o EPA, fornecer informações pela plataforma montada na HP da Câmara e, em maio, realizou uma pesquisa sobre o EPA dirigida para as empresas japonesas presentes nos países do Mercosul. A pesquisa perguntou a 348 empresas japonesas presentes nos países do Mercosul se há necessidade de um EPA Japão-Mercosul, e dentro de uma taxa de resposta de 74%, 84% responderam afirmativamente, que sentiam a necessidade de um EPA Japão-Mercosul. Na 21ª Reunião Conjunta do Comitê de Cooperação Brasil-Japão, em julho, Matsunaga, o então presidente da Câmara defendeu a necessidade do EPA Japão-Mercosul por meio de uma palestra intitulada "Para a realização do EPA Japão-Mercosul" e na qual apresentou os projetos e atividades da Força Tarefa de preparação a EPA e os resultados da pesquisa. Além disso, o relatório conjunto da CNI-Keidanren intitulado "Roteiro para um Acordo de Parceria Econômica entre o Japão e o Mercosul" foi apresentado na mesma ocasião e ao consultar a opinião dos participantes acerca da necessidade do EPA, conforme escrito no início, a ideia foi aprovada por unanimidade. (<http://www.keidanren.or.jp/policy/2018/062.html>)

Além disso, com o respaldo do resultado da pesquisa que condensou as vozes das empresas japonesas localizadas no Mercosul e no relatório conjunto "Roteiro para um Acordo de Parceria Econômica entre o Japão e o Mercosul", no dia 18 de outubro, a Câmara de Comércio e Indústria do Japão ("JCCI") e o Keidanren divulgaram em conjunto o "Pedido de Agilização da Negociação do EPA Mercosul-Japão", e em 23 de outubro, o mesmo foi entregue em mãos ao Secretário Chefe do Gabinete do Japão, por Masami Iijima, presidente da Comissão Econômica Japão Brasil, do Keidanren, e Ken



## CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

Kobayashi, presidente da Comissão Econômica Japão Argentina, da Câmara do Comércio do Japão e de Tóquio. ([http://www.keidanren.or.jp/journal/times/2018/1025\\_02.html](http://www.keidanren.or.jp/journal/times/2018/1025_02.html))

O EPA do Mercosul e Japão levará à formação e ao fortalecimento de uma zona econômica livre e aberta, e sua concretização é extremamente significativa. Espera-se que, daqui a diante o Governo japonês demonstre iniciativa, discutindo o EPA junto com os líderes dos países do Mercosul, a fim de agilizar o início das negociações. O EPA Japão-Mercosul foi uma das principais atividades desta Câmara e que demandou um grande esforço em 2018, mas continuaremos estudando meios para trabalhar em parceria com o Keidanren e a JCCI para que as negociações se iniciem o mais breve possível.

※ Confira os links abaixo para conhecer o histórico das ações de FTA/EPA realizadas entre o Japão e o Brasil ou entre o Japão e o Mercosul (Histórico das atividades de FTA (EPA) Japão-Brasil realizadas no passado)

### II. Tópicos de atividades da Câmara em 2018

As outras atividades principais e assuntos relacionados da Câmara estão abaixo na forma de tópicos.

#### 1. Simpósios, Seminários, Almoços

O simpósio dos chefes de departamento realizado duas vezes por ano foi um grande sucesso, com mais de 200 participantes em cada evento. Foi uma amostra do grande interesse pela recuperação da economia brasileira e por seu subtema, que foi o impacto pós eleição presidencial brasileira sobre as empresas japonesas.

Além disso, as Comissões e Departamentos também organizaram seminários de diversos temas como legislação trabalhista, sistema tributário, tecnologia da informação, incluindo IoT (Internet das Coisas), revisão da lei de imigração, medidas de segurança, propriedade intelectual, desembaraço aduaneiro, etc. além de palestras e seminários de figuras notórias como o ex-jogador de futebol Wagner Lopes e Chieko Aoki. Nos almoços mensais, palestras valiosas foram ministradas por convidados ilustres como: Luiz Otávio Pimentel, o presidente do INPI, Mitsuhiro Miyakoshi, então, assessor especial do primeiro-ministro do Japão (atual ministro de Estado para missões especiais), e Luís Nishimori, deputado federal.

#### 2. Visitas

Inúmeras visitas de estudo e observação foram realizadas, tais como a visita à Zona de Processamento de Exportação (ZPE) do Ceará promovida pela Comissão de Desenvolvimento Profissional Mútuo e Departamento de Transportes e Serviços, a visita ao Toyota Visitors Center pela Comissão de Meio Ambiente, a visita ao Porto do Açu pelo Departamento de Transportes e Serviços, a Missão de Negócios do Paraguai em co-organização com a JETRO, etc.

#### 3. 110 anos da imigração japonesa ao Brasil e vinda da princesa Mako do Japão

O ano que passou foi o 110º ano da imigração japonesa ao Brasil e sua alteza imperial, princesa Mako, veio ao Brasil, estando presente na cerimônia realizada ao meio-dia de 21 de julho durante o Festival do Japão da Federação das Associações de Províncias do Japão no Brasil (Kenren). Durante a cerimônia, a princesa encerrou o seu discurso dizendo que sente "respeito de coração os emigrantes e seus descendentes que se esforçaram muito para construir e sustentar a sociedade Nikkei atual. Imagino o longo caminho que os senhores tiveram de trilhar, e desejo que sua história seja transmitida preciosamente às gerações futuras". Aplausos emocionados encheram o salão com capacidade para cinco mil pessoas. Sua alteza visitou cinco estados e 14 cidades apesar do cronograma limitado e se empenhou ativamente no intercâmbio com as comunidades nikkeis de diversos lugares.

#### 4. Vinda do Ministro Japonês das Relações Exteriores, Taro Kono ao Brasil

Taro Kono foi o primeiro Ministro das Relações Exteriores do Japão que veio visitar o Brasil em cinco anos. Além de proferir uma palestra na Japan House, o ministro trocou opiniões com pessoas da sociedade nikkei. Na palestra, ele mencionou a importância de promover o FTA entre o Japão e o Mercosul, assim como o intercâmbio com a sociedade japonesa no Brasil.

#### 5. 21ª Reunião Conjunta do Comitê de Cooperação Brasil-Japão / 12ª Reunião do Comitê Conjunto de Promoção Comercial, Investimento e Cooperação Industrial Brasil-Japão / 2ª Reunião do Grupo de Trabalho de Infraestrutura Brasil-Japão

Em 2018 também foram realizadas reuniões que acompanham a agenda de diálogos entre o Brasil e o Japão, destacando-se a 21ª Reunião Conjunta do Comitê de Cooperação Brasil-Japão realizada em Tóquio durante a qual tiveram sessões de discussão acerca do EPA Japão-Mercosul, agricultura, energia, infraestrutura, melhoria do ambiente de negócios, ODSs, etc. e Aiichiro Matsunaga (então presidente da entidade) fez uma apresentação



## CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

sobre as atividades do EPA Japão-Mercosul, como mencionado acima. Durante a 12ª Reunião do Comitê Conjunto de Promoção Comercial, Investimento e Cooperação Industrial Brasil-Japão, o lado japonês apresentou o relatório sobre a Reunião Conjunta do Comitê de Cooperação Brasil-Japão, falou sobre o EPA Japão-Mercosul e o status da cooperação sobre propriedade intelectual como o Patent Prosecution Highway (PPH). O lado brasileiro fez apresentações sobre as diretrizes do programa de política automotiva ROTA 2030 e o acesso de mercadorias exportadas ao mercado brasileiro.

6. A Câmara recebeu o diploma de honra ao mérito do ministro dos Negócios Estrangeiros / o presidente foi homenageado com a medalha da Ordem Nacional Barão de Mauá / Masahiko Sadakata foi um dos condecorados de outono de 2018 pelo Governo japonês.

<A Câmara agraciada com o diploma de honra ao mérito do ministro dos Negócios Estrangeiros>

No passado, com exceção de uma premiação individual com o diploma de honra do ministro da Economia, Comércio e Indústria, na década de 1980, ou a premiação de alguns membros com o diploma do ministro dos Negócios Estrangeiros durante a Cerimônia de Comemoração do Centenário da Imigração Japonesa no Brasil, em 2008, a Câmara nunca havia sido condecorado como entidade, e esta foi a primeira ocasião em sua longa história em que esta entidade foi laureada como organização. Aiichiro Matsunaga (então presidente da entidade) participou do evento de entrega representando a Câmara. O motivo para a premiação foi: "Fundada em 1940 devido a ampliação do comércio internacional entre o Brasil e o Japão, a Câmara vem amparando empresas multinacionais japonesas em expansão no Brasil. A entidade sempre esteve envolvida em projetos bilaterais que contribuíram enormemente para o Brasil, como a USIMINAS (Usinas Siderúrgicas de Minas Gerais S.A.), a CENIBRA (Celulose Nipo-Brasileira S.A.), a Nippon Amazon Alumínio Ltda. dentre outras, na adoção do sistema de TV digital japonês no Brasil e para o fechamento do Acordo Brasil-Japão para evitar a dupla tributação da previdência social. Ainda, nos últimos anos, em Comissões Econômicas Conjuntas Japão-Brasil tem recomendado ao governo brasileiro a remoção de barreiras no mundo dos negócios brasileiros, contribuindo assim para as relações econômicas bilaterais e as relações de amizade entre o Japão e o Brasil".

<Presidente recebe a medalha da Ordem Nacional Barão de Mauá>

A Medalha da Ordem Nacional Barão de Mauá, recém-promulgada pelo Decreto nº 9549, de 31 de outubro de 2018, é a medalha mais importante do Brasil que condecora personalidades que tenham prestado relevantes contribuições à indústria, ao comércio exterior e aos serviços do país. As atividades da Câmara foram reconhecidas e, em 12 de dezembro, Aiichiro Matsunaga (então presidente da entidade) participou da cerimônia de condecoração.

<Masahiko Sadakata foi um dos condecorados de outono do Ano 30 da Era Heisei – 2018>

Masahiko Sadakata, que foi o 13º presidente da Câmara, foi um dos condecorados outono de 2018. Enquanto presidente da Câmara, Masahiko Sadakata promoveu o intercâmbio econômico nipo-brasileiro, dando suporte para a entrada de novas empresas japonesas ao Brasil. Ele chegou ao Brasil como um dos membros fundadores da Yakult do Brasil e foi reconhecido pelo esforço em resolver obstáculos legais e culturais para estabelecer a empresa, contribuindo significativamente para o desenvolvimento da empresa e à valorização da imagem corporativa japonesa. Além disso, contribuiu para o fortalecimento do intercâmbio nipo-brasileiro captando recursos para o transporte do bonde que a cidade de Nagasaki doou para a cidade de Santos, bem como para a fundação e início das atividades da escola de beisebol de Ibiúna.

7. Eleição do presidente de 2019-2020 / Conselho Diretor / Conselho Fiscal  
Por ser ano da eleição bial (escolha do presidente / conselho diretor / conselho fiscal), a eleição foi realizada segundo o cronograma abaixo:

Eleição do Conselho Diretor e Conselho Fiscal do biênio 2019-2020

17 de agosto: Criação das Comissões Administrativas Eleitorais para a Eleição do Conselho Diretor e Conselho Fiscal ~ realização da votação para Conselho diretor (30 empresas candidatas) e Conselho Fiscal (7 candidatos) com participação de todos os associados ~

19 de outubro: Assembleia Geral Extraordinária para divulgação e aprovação do resultado da votação (dissolução das Comissões Administrativas Eleitorais)

30 membros do Conselho Diretor e 3 novos membros efetivos e 3 suplentes do Conselho Fiscal foram eleitos para o biênio 2019/20.

19 de outubro: Criação da Comissão Administrativa Eleitoral para a presidência ~

Realização da votação para a presidência (candidato único) com participação dos 30 novos membros do Conselho Diretor do biênio 2019/20

23 de novembro: Assembleia Geral Extraordinária para divulgação e aprovação do resultado da votação (Dissolução da Comissão Administrativa Eleitoral)

Shinji Tsuchiya foi eleito como presidente do biênio 2019/20 por votação e assumiu o posto no dia 1º de janeiro de 2019.

Devido ao espaço limitado, omitimos detalhes sobre o teor dos negócios.  
Favor se referir ao Resumo Geral apresentado no site da Câmara e no material da Assembleia Geral que será postado posteriormente. [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br)



# CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

ブラジル日本商工会議所

## 2019年度ブラジル日本商工会議所活動基本方針

### 1. 基本方針

「開かれた、チャレンジする、全員参加の会議所」

会員のために機能する、有益な会議所を目指すと同時に公的団体としての役割を果たしていく。

### 2. 2019/20年度活動方針、重点施策

#### 1) 商工会議所の基盤強化と活動内容の一層の充実

① 引き続き、会員の増加、会議所の財務体質の強化に努める。

② 会員のニーズを吸い上げ、活動内容の工夫、改善を図る。

● 会員のために有益な情報の収集、その共有に努める。

● 会議所内、会員間における一層のコミュニケーションの円滑化を図り、会員の声が届きやすい、またその声を活かすことの出来る、開かれた、柔軟な組織を目指す。

③ 他国の在ブラジル商工会議所および経済団体等と連携強化を図り、日伯両国政府へ必要な提言、要請、働きかけを行う。

#### 2) 日伯関係の強化、拡大への寄与

定款に定められた会議所の目的（日伯間の経済・貿易・商工業の促進等）を念頭に、[日・メルコスールとのEPA協定を含めた](#)日伯関係のさらなる活性化、強化、拡大に寄与する。

● ビジネス環境改善のために必要な提言、要請を日伯両国政府に行っていく。

官民合同会議での議論のフォローアップを主目的とした、大使館、総領事館との定期的な meeting の場を継続する。

● 経団連およびCNIと重層的に連携を深め、両国政府間のハイレベル協議に参加し、日伯貿易投資促進の更なる加速を図る。

#### 3) 企業の社会的責任（CSR: Corporate Social Responsibility）履行支援

以上





# CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

## PLANO DE ATIVIDADES DA CÂMARA DE COMÉRCIO INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL PARA 2019

### 1. Políticas Básicas

“Uma Câmara aberta”, “Uma Câmara que encara desafios”, “Uma Câmara para os Associados”. Uma entidade que funcione em prol dos associados e que ao mesmo tempo almeje ser uma Câmara útil, cumpra as suas responsabilidades enquanto entidade de caráter público.

### 2. Diretrizes operacionais para 2018 e Ações Prioritárias

#### (1) Fortalecimento das bases da entidade e aprimoramento ainda maior das atividades

- ① Continuar os esforços para ampliar e fortalecer o quadro de associados, a fim de incrementar a estrutura financeira da entidade.
- ② Prospectar as necessidades dos associados, procurando melhorar o conteúdo das atividades, a fim de ser uma Câmara que contribui para os seus associados.
  - Coletar e compartilhar informações úteis para os associados.
  - Buscar tornar ainda mais fluida a comunicação interna da Câmara e entre os associados, permitindo ouvir melhor o que os associados têm a dizer e almejando uma organização aberta e flexível, que possibilite obter proveito imediato dessa característica.
- ③ Apresentar propostas, solicitações e realizar trabalhos necessários junto aos governos brasileiro e japonês em parceria com as Câmaras de Comércio de outras nacionalidades no Brasil, órgãos econômicos etc.

#### (2) Contribuir para o fortalecimento e ampliação das relações nipo-brasileiras

Tendo como pressuposto os objetivos da Câmara estabelecidos em seu estatuto social (promoção das relações econômicas nipo-brasileiras, o comércio entre os dois países etc.), contribuir para a dinamização, fortalecimento e expansão ainda maiores das relações entre os dois países, [que inclui acordo de parceria econômica \(EPA\) entre Mercosul e Japão](#):

- Realizar junto aos governos do Brasil e do Japão as propostas e solicitações necessárias visando melhorar o ambiente de negócios.
- Manter um espaço para troca regular de informações com Embaixada do Japão no Brasil e Consulado Geral do Japão em São Paulo, tendo como objetivo principal o *follow up* das pautas discutidas nas reuniões conjuntas entre o governo japonês e empresas privadas (*Kan-Min Godo Kaigi*)
- Visando maior aceleração de cooperação para promoção de investimentos e comércio entre Brasil e Japão, manter os pleitos nesse sentido junto aos governos dos dois países, participando de grupo consultivo de alto nível, integrando a atuação com Nippon Keidanren e CNI.

#### (3) Apoio às práticas de Responsabilidade Social Corporativa nas empresas

Balanco Patrimonial Consolidado (Valores em Reais)

Folha: 00001

Empresa: CAMARA DE COMERCIO E INDUSTRIA JAPONESA DO BRASIL(0063)

CNPJ/CPF: 61.009.031/0001-06

End.: Avenida PAULISTA 475-13 ANDAR-BELA VISTA - CEP: 01311-000

Município: São Paulo

UF: SP

Emitido em: 25/02/2019

Período: Janeiro a Dezembro de 2018

Data do encerramento: 31/12/2018

ATIVO	3.363.593,38	PASSIVO	3.363.593,38
<b>CIRCULANTE</b>	<b>3.339.210,69</b>	<b>PASSIVO CIRCULANTE</b>	<b>371.396,35</b>
DISPONIVEL	3.296.533,79	PASSIVO CIRCULANTE	249.614,58
CAIXA	1.367,97	CONTAS A PAGAR	45.079,00
DEPOSITOS BANCARIOS A VISTA	5.498,48	ALUGUEL	31.522,67
APLIC DE LIQUIDEZ IMEDIATA	3.289.667,34	RECEBIMENTOS ANTECIPADOS	26.588,00
CLIENTES	2.485,00	PROVISÃO DE FÉRIAS /13*	146.424,91
CONTAS A RECEBER	2.485,00	PASSIVO CIRCULENCTRIBUTOS	121.781,77
OUTROS CRÉDITOS	40.191,90	ENCARGOS SOCIAIS DO EXERCICIO	42.481,99
ANTECIPACAO DE FÉRIAS	40.191,90	ENCARGOS TRIBUTRECOLHER	30.247,43
		ENC SOCIAIS S/PROVFÉRIAS*	49.052,35
<b>ATIVO PERMANENTE</b>	<b>24.382,69</b>	<b>PATRIMONIO LIQUIDO</b>	<b>2.992.197,03</b>
IMOBILIZADO	24.382,69	PATRIMONIO LIQUIDO	2.992.197,03
IMOBILIZADOS	206.547,49	DEFICIT/SUPERAVIT DO PERIODO	140.630,81
( - ) DEPRECAMORTIZAÇÃO ACUM	- 182.164,80	DEFICIT/SUPERATIV/ACUMULADO	2.851.566,22

Reconhecemos a exatidão do presente Balanco Patrimonial, cujo Ativo e Passivo estão uniformes na mesma importancia de R\$3.363.593,38 (TRÊS MILHÕES TREZENTOS E SESENTA E TRÊS MIL E QUINHENTOS E NOVENTA E TRÊS REAIS E TRINTA E OITO CENTAVOS ) Ressalvando que a responsabilidade do profissional contabilista, fica restrita apenas ao aspecto meramente tecnico desde que reconhecidamente operou com elementos dados e comprovantes fornecidos pela gerencia da firma que se responsabiliza pela sua exatidão e veracidade, bem como pelos estoques considerados levantados pela referida gerencia e sob sua total e exclusiva responsabilidade.

  
 SHINJI TSUCHIYA  
 ADMINISTRADOR  
 CPF: 033.464.368-61

  
 EDUARDO YOSHIMITSU HIDAKA  
 CONTADOR  
 CRC: 1SP 219.788/O-1

**Demonstração do Resultado do Exercício Consolidado (Valores em Reais)**

Folha: 00002

Empresa: CAMARA DE COMERCIO E INDUSTRIA JAPONESA DO BRASIL(0063)

CNPJ/CPF: 61.009.031/0001-06

End.: Avenida PAULISTA 475-13 ANDAR-BELA VISTA - CEP: 01311-000

Município: São Paulo

UF: SP

Emitido em: 25/02/2019

Período: Janeiro a Dezembro de 2018 Data do encerramento: 31/12/2018

RECEITA OPERACIONAL BRUTA	3.425.314,16
CONTRIBUIÇÕES MENSAS	2.672.011,00
CONTRIBUIÇÕES DIVERSAS	753.303,16
RECEITA LIQUIDA OPERACIONAL	3.425.314,16
RECEITA LIQUIDA OPERACIONAL	3.425.314,16
LUCRO BRUTO OPERACIONAL	3.425.314,16
DESPESAS/RECEITAS OPERACIONAIS	- 3.284.683,35
DESPESAS COM PESSOAL	- 1.855.481,10
DESPESAS ADMINISTRATIVAS	- 1.552.644,38
DESPESAS TRIBUTARIAS	- 152.262,30
RECEITAS FINANCEIRAS	299.521,63
DESPESAS FINANCEIRAS	- 12.296,13
OUTRAS DESPESAS OPERACIONAIS	- 11.521,07
RECEITAS NÃO OPERACIONAIS	-
ANTES DA CONTRIBUIÇÃO SOCIAL	140.630,81
ANTES DO IMPOSTO DE RENDA	140.630,81
RESULTADO DO EXERCÍCIO	140.630,81

Reconhecemos a exatidão da presente Demonstração do Resultado do Exercício.



SHINJI TSUCHIYA  
ADMINISTRADOR  
CPF: 033.464.368-61



EDUARDO YOSHIMITSU HIDAKA  
CONTADOR  
CRC: 1SP 219.788/O-1



# CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

## 2018年度の収支予算と実績比較 Análise Comparativo entre Orçamento e Resultado de 2018

単位 Unidade: R\$1000

作成日: 18/03/2019

収入 RECEITAS		Nº	2018年度予算 Orçamento-2018	2018年度実績 Resultado-2018	差額 (実績-予算) Diferença (R-O)
R0.1: 通常会費	CONTRIBUIÇÃO	1	2,674.2	2,670.7	-3.5
R0.2: 新版・現代ブラジル事典	NOVA ENCICLOP. BRASIL CONTEMP.	2	3.4	1.2	-2.2
<b>R0: 通常会費 計</b>	<b>TOTAL DE CONTRIBUIÇÃO</b>	<b>3</b>	<b>2,677.6</b>	<b>2,671.9</b>	<b>-5.7</b>
R1.1 昼食会	ALMOÇOS /BONENKAI	4	412.5	408.8	-3.7
R1.2 部会/委員会	COMIS. /DEPTOS.	5	292.2	120.8	-171.4
R1.3 日商/補助金	CONTRIB. NISSHO	6	183.5	183.5	0.0
<b>R1: 参加費 計</b>	<b>CONTRIB.ESPECIAL</b>	<b>7</b>	<b>888.2</b>	<b>713.1</b>	<b>-175.1</b>
R2: 委託出版物	CONTRIB. S/ PUBLICAÇÕES	8	39.5	27.8	-11.7
R3: 会議室賃貸料	CONTRIB. ALUGUEL	9	12.0	12.4	0.4
R4: 資金運用益	REC. FINANCEIRA	10	185.2	299.5	114.3
<b>収入 計</b>	<b>TOTAL RECEITAS ( 1 )</b>	<b>11</b>	<b>3,802.5</b>	<b>3,724.7</b>	<b>-77.8</b>

支出 DESPESAS			2018年度予算 Orçamento-2018	2018年度実績 Resultado-2018	差額 (実績-予算) Diferença (R-O)
D1.1: 昼食会	ALMOÇO, REUNIÕES E OUTROS	12	406.1	412.4	6.3
D1.2: 部会/委員会	COMIS. /DEPTOS.	13	494.7	175.4	-319.3
D1.3 日商に関わる事業費 (補助金負担)	PROM.ESPECIAL RELACIONADAS A NISSHO	14	15.5	15.5	0.0
<b>D1: 特別事業費 計</b>	<b>TOTAL PROM. ESPECIAIS</b>	<b>15</b>	<b>916.3</b>	<b>603.3</b>	<b>-313.0</b>
D2.1 通常活動費	PROMOÇÕES	16	107.0	84.8	-22.2
D2.2 出版物委託原価	CUSTO DE PUBLICAÇÕES	17	34.2	24.6	-9.6
D2.4 日商に関わる活動費 (補助金負担)	PROM. GERAL RELACIONADAS A NISSHO	18	57.0	57.0	0.0
<b>D2: 事業活動費 計</b>	<b>TOTAL PROM. GERAIS</b>	<b>19</b>	<b>198.2</b>	<b>166.4</b>	<b>-31.8</b>
D3.1 人件費	PESSOAL	20	1,545.4	1,513.1	-32.3
D3.2 日商に関わる人件費 (補助金負担)	PESSOAL RELACIONADAS A NISSHO	21	59.9	59.9	0.0
有給休暇 及び 13ヶ月給与引当金	PROVISÃO DE 13º SALARIO E FÉRIAS	22	270.5	282.5	12.0
<b>D3: 人件費 計</b>	<b>TOTAL DE DESPESAS PESSOAL</b>	<b>23</b>	<b>1,875.8</b>	<b>1,855.5</b>	<b>-20.3</b>
D4: 事務管理費	ADMINISTRATIVAS	24	283.4	282.9	-0.5
D5: 金融費用	DESPESAS FINANCEIRAS	25	15.8	12.3	-3.5
D6.1: 租税公課 (資金運用益に掛る税金)	IRRF S/APLICAÇÕES FINANCEIRAS	26	68.8	140.6	-71.8
D6.2: 租税公課 (PIS)	PIS	27	16.0	11.6	4.4
<b>D6: 租税公課 計</b>	<b>TOTAL DESPESAS TRIBUTÁRIAS</b>	<b>28</b>	<b>84.8</b>	<b>152.2</b>	<b>-67.4</b>
D7: 家賃・共費	ALUGUEL/CONDOMINIO/IPTU.	29	566.9	500.0	-66.9
D8: 減価償却引当金	DEPRECIÇÃO	30	11.1	11.5	0.4
<b>支出 計</b>	<b>TOTAL DESPESAS ( 2 )</b>	<b>31</b>	<b>3,952.3</b>	<b>3,584.1</b>	<b>-368.2</b>
<b>P/L上の収支</b>	<b>SALDO ( 1 ) - ( 2 )</b>	<b>32</b>	<b>-149.8</b>	<b>140.6</b>	<b>290.4</b>
D9: 固定資産	IMOBILIZADO	33	5.0	3.0	-2.0
<b>2017年度から2018年度への繰越金</b>	<b>Saldo exercício do ano 2017</b>	<b>34</b>		<b>3,086.4</b>	
<b>2018年度から2019年度への繰越金</b>	<b>Saldo exercício do ano 2018</b>	<b>35</b>		<b>3,296.5</b>	



# CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

## 2019年度収支予算 vs 前年度実績比較

Análise Comparativo entre Orçamento de 2019 e Resultado de Ano 2018

単位 Unidade: R\$ 1000

作成日: 18/03/2019

収入 RECEITAS		Nº	2019年度予算 Orçamento-2019	2018年度実績 Resultado-2018	差額 (予算-実績) Diferença (O-R)	対前年 実績比%
R0.1: 通常会費	CONTRIBUIÇÃO	1	2,766.6	2,670.7	95.9	3.6
R0.2: 新版・現代ブラジル事典	NOVO ENCICLOP. BRASIL CONTEMP.	2	1.0	1.2	-0.2	-16.7
<b>R0: 通常会費 計</b>	<b>TOTAL DE CONTRIBUIÇÃO</b>	<b>3</b>	<b>2,767.6</b>	<b>2,671.9</b>	<b>95.7</b>	<b>3.6</b>
R1.1: 昼食会	ALMOÇOS /BONENKAI	4	408.8	408.8	0.0	0.0
R1.2: 部会/委員会	COMIS. /DEPTOS.	5	254.8	120.8	134.0	110.9
R1.3: 日商/補助金	CONTRIB. NISSHO	6	0.0	183.5	-183.5	
<b>R1: 参加費 計</b>	<b>TOTAL CONTRIB.ESPECIAL</b>	<b>7</b>	<b>663.6</b>	<b>713.1</b>	<b>-49.5</b>	<b>-6.9</b>
R2: 出版物	PUBLICAÇÕES	8	3.6	27.8	-24.2	-87.1
R3: 会議室賃貸料	CONTRIB. ALUGUEL	9	12.4	12.4	0.0	0.0
R4: 資金運用益	REC. FINANCEIRA	10	310.3	299.5	10.8	3.6
<b>収入 計</b>	<b>TOTAL RECEITAS (1)</b>	<b>11</b>	<b>3,757.5</b>	<b>3,724.7</b>	<b>32.8</b>	<b>0.9</b>

支出 DESPESAS			2019年度予算 Orçamento-2019	2018年度実績 Resultado-2018	差額 (予算-実績) Diferença (O-R)	対前年 実績比%
D1.1: 昼食会	ALMOÇOS /BONENKAI	12	400.6	412.4	-11.8	-2.9
D1.2: 部会/委員会	COMIS. /DEPTOS.	13	302.3	175.4	126.9	72.3
D1.3: 日商に関わる事業費 (補助金負担)	PROM. ESPEC. RELACIONADAS A NISSHO	14	0.0	15.5	-15.5	
<b>D1: 特別事業費 計</b>	<b>PROM. ESPECIAIS</b>	<b>15</b>	<b>702.9</b>	<b>603.3</b>	<b>99.6</b>	<b>16.5</b>
D2.1: 通常活動費	PROMOÇÕES	16	104.1	84.8	19.3	22.8
D2.2: 出版物委託原価	CUSTO DE PUBLICAÇÕES	17	3.2	24.6	-21.4	-87.0
D2.4: 日商に関わる活動費 (補助金負担)	PROM. GERAL RELACIONADAS A NISSHO	18	0.0	57.0	-57.0	
<b>D2: 事業活動費 計</b>	<b>TOTAL PROM. GERAIS</b>	<b>19</b>	<b>107.3</b>	<b>166.4</b>	<b>-59.1</b>	<b>-35.5</b>
D3.1: 人件費	PESSOAL	20	1,655.6	1,513.1	142.5	9.4
有給休暇及び13ヶ月給与引当金	PROVISÃO DE 13º SALARIO E FÉRIAS	21	287.1	282.5	4.6	1.6
D3.2: 日商に関わる人件費 (補助金負担)	PESSOAL RELACIONADAS A NISSHO	22	0.0	59.9	-59.9	
<b>D3: 人件費 計</b>	<b>TOTAL DESPESAS C/PESSOAL</b>	<b>23</b>	<b>1,942.7</b>	<b>1,855.5</b>	<b>87.2</b>	<b>4.7</b>
D4: 事務管理費	DESPESAS ADMINISTRATIVAS	24	293.5	282.9	10.6	3.7
D5: 金融費用	DESP. FINANCEIRAS	25	12.8	12.3	0.5	4.1
D6.1: 租税公課 (資金運用益に掛る税金)	IRRF S/APLICAÇÕES FINANCEIRAS	26	146.9	140.6	6.3	4.5
D6.2: 租税公課 (PIS)	PIS	27	13.2	11.6	1.6	13.8
<b>D6: 租税公課 計</b>	<b>TOTAL DESPESAS TRIBUTÁRIAS</b>	<b>28</b>	<b>160.1</b>	<b>152.2</b>	<b>7.9</b>	<b>5.2</b>
D7: 家賃・共費	ALUGUEL/CONDOMINIO/IPTU.	29	528.2	500.0	28.2	5.6
D8: 減価償却引当金	DEPRECIÇÃO	30	7.0	11.5	-4.5	-39.1
<b>支出 計</b>	<b>TOTAL DESPESAS (2)</b>	<b>31</b>	<b>3,754.5</b>	<b>3,584.1</b>	<b>170.4</b>	<b>4.8</b>

P/L上の収支	SALDO (1) - (2)	32	3.0	140.6	-137.6	-97.9
---------	-----------------	----	-----	-------	--------	-------

D9: 固定資産	IMOBILIZADO	33	0.0	3.0	-3.0	-100.00
----------	-------------	----	-----	-----	------	---------



# CÂMARA DE COMÉRCIO E INDÚSTRIA JAPONESA DO BRASIL

Av. Paulista, 475 - 13º andar - São Paulo / SP - CEP 01311-908 - BRASIL

Tel.: (011)3178-6233 / Fax: (011)3284-0932

HomePage: [www.camaradojapao.org.br](http://www.camaradojapao.org.br) / E-mail: [secretaria@camaradojapao.org.br](mailto:secretaria@camaradojapao.org.br)

2019年3月1日

## 監事意見書

### PARECER DO CONSELHO FISCAL

ブラジル日本商工会議所  
会頭 土屋信司 殿

ブラジル日本商工会議所の2018年度(2018年1月1日より、同年12月31日まで)の事業報告書並びに貸借対照表、収支決算書、財産目録(什器及び造作)を監査しましたところ、適正であると認めましたので、茲に報告します。

Para  
Sr. Shinji Tsuchiya  
Presidente  
Câmara de Comércio e Indústria Japonesa do Brasil

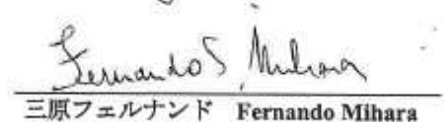
Vem pela presente firmar a adaptabilidade dos Relatórios de atividades, Balanço, Conta de Lucro e Perdas, Inventário (relação de Ativo Imobilizado) do exercício social do ano 2018(do dia 01 de janeiro de 2018 a dia 31 de dezembro de 2018) da Câmara de Comércio e Indústria Japonesa do Brasil.

São Paulo, 01 de março de 2019.

Conselho Fiscal 監事会

  
二宮 正人 Masato Niinomiya

  
天野 ウーゴ Hugo Amano

  
三原 フェルナンド Fernando Mihara